

～幼保小の子どもの学びと育ちをつなぐ～

架け橋通信



第10号

令和6年11月発行

京都市教育委員会 学校指導課
幼保小の架け橋プログラム担当
TEL:075-222-3746

必見

「京都市幼保小の架け橋プログラム手引き」及び「概要版」を活用し、幼保小の架け橋プログラムに取り組みましょう！！

全市立小学校・就学前施設のみなさんにお届けしたこの手引きは、令和7年度から全ての京都市立小学校区で幼保小の架け橋プログラムの取組を実施し、架け橋期の教育・保育の充実を図るための手引書です。

◆「京都市幼保小の架け橋プログラム手引き」



京都市の架け橋プログラムとは？

そもそも幼児教育と小学校教育は違いもあるけど、学びはつながっているってことなんだ！
幼児教育と小学校教育で育む資質・能力がつながり、0歳から18歳までを見通した時に、架け橋期は、生涯の学びの基盤となる時期なんだね

幼稚園や保育園での活動がよく分かり、子どもの姿からこうやって10の姿を見取っていくんだね

スタートカリキュラムの具体例が分かる！！環境選定など参考にしよう！

こんな子ども同士の交流や大人同士の取組もできるんだね。ヒントにしよう！

理論編

- ・幼保小の架け橋プログラムとは
- ・京都市の現状と方針
- ・京都市における架け橋プログラムの方針 Q&A
- ・幼保小の架け橋プログラムの進め方(フェーズ)のイメージと実施状況チェックリスト
- ・各小学校ブロックの具体的な進め方
- ・幼保小の架け橋プログラム 年間計画例
- ・幼保小連携・接続主任(小学校)の役割
- ・幼児教育と小学校教育のつながり
- ・京都市「架け橋期のカリキュラム」例の解説
- ・京都市「架け橋期のカリキュラム」例

どこと連携する？何から始める？
まずはQ&Aを見てみよう！

具体的には、何をどのように取り組むの？
自校ブロックはどのフェーズ段階にあるのかチェックして、自校園の架け橋プログラムの進捗を確認しながら取り組もう！

実践編

- ・研究ブロックの研究概要・架け橋期のカリキュラム
- ・幼児期の学びの芽生え…6事例
- ・スタートカリキュラム…8事例
- ・つながりのある保育・授業…9事例
- ・子ども同士の交流…9事例
- ・大人同士の取組…5事例

3研究ブロックは地域の実態に応じた取組をしているね。参考にしよう！

項目ごとに、たくさんの実践事例が載っているね。自校ブロックでも参考にできる取組がありそうだ

実践編から

つながりのある授業 図画工作科「カラフルいろみず(造形遊び)」 1年生 6月

ねらい 楽しくいろいろな色水をつくることから思いついたことを試す学習活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。

幼児期とのつながり

- ① 子どもの心がときめき、心が動く環境構成(ストーリー性、豊富な材料、特別感のある材料など)
- ② 魅力的な自由度の高い活動(自由な発想・表現活動が特徴の造形遊び)
- ③ 子どもの安心とワクワク感、学習を支える教師の働きかけ(共感する、認める、問いかけるなど)

実践内容

幼保の先生とともに考える環境

- ・幼児期に行う「色水遊び」とはどんなものか。
- ・幼児での「色水遊び」を見て知る時間設定
- ・幼保にある魅力的で豊富な用具を使用
- ・ストーリー性のある設定(色水研究所・博士と研究員)

今日、みんなは、いろみず研究所の研究員です。いろみずを混ぜて発見しましょう。

実際の交流で活用できる「幼保小交流活動参観シートの様式」や「架け橋期のカリキュラムの様式例」を京都市教育委員会ホームページに掲載。ご活用ください。

生活科だけじゃなく、他教科の実践事例も！

幼児期とのつながり

なるほど！授業での環境や教師の言葉かけなど参考になるなあ

前ページの「いろみずあそび」と併せて見ると、小学校は幼児の活動や学びを踏まえることができるし、就学前施設は小学校の授業を見通することができるね！

◆「概要版」

必携

いつでも手に取って、見て、活用していただきやすいように手引きを8ページにまとめたものです。架け橋プログラムの意義や京都市の方針、進め方に加え、具体的取組の16のポイントを4つのフェーズ毎に提示しています。年間の取組計画のモデル案として、架け橋カレンダーも掲載しています。

京都市幼保小の架け橋プログラム手引きや概要版は京都市教育委員会HPにも掲載しています。
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000334387.html>

手引きの内容は、幼保小接続(架け橋プログラム)研修会(次ページ)で詳しく説明します。幼保小の架け橋プログラムの実践にぜひご活用ください！！

幼保小接続(架け橋プログラム)研修会

「京都市 幼保小の架け橋プログラム手引き」と「概要版」をお手元にご用意ください！！

11月25日(月) 15:00~16:30 Y904B23 (10/23 付通知)

参加対象:市立小学校・幼稚園の管理職(悉皆) 希望する幼保小連携・接続主任・1年生担任

令和7年度から全市立小学校区で幼保小の架け橋プログラムを実施するにあたり、京都市の方針や取組についての理解を深めるための研修です。

内容 ・京都市幼保小の架け橋プログラムの手引きをもとに本市の方針等の説明
・本調査研究事業の有識者コーディネーターである京都教育大学 教授 古賀松香氏のご講演

オンデマンド配信あり ・市立校園の教職員には、SMART POTALで配信
・就学前施設には、こどもみらい館第10回共同機構研修会として配信

京都市幼保小架け橋シンポジウム 令和7年2月14日(金) 9:30~17:00

～地域ぐるみで進める幼保小の連携・接続の京都モデルを目指して～ **ぜひご参加ください**

内容 分科会(午前) 各研究ブロック(御所南小・下京雅小・竹田小)公開授業・保育、取組報告
全体会(午後) ロームシアター京都 サウスホール
京都市における幼保小の架け橋プログラム取組概要
研究指定校園の実践報告
パネルディスカッション

特別講演

講師 文部科学省 幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会委員長
白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆氏

申込 市立小学校教員:e-アンサー【11月15日~29日】でお申し込みください。
上記以外の方:2次案内の二次元バーコードまたは、URLからお申込みください。
申込期間 12月5日(木)~2月3日(月)
※アーカイブ配信視聴あり

※詳細は京都市教育委員会HPの2次案内をご覧ください。 <https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000329069.html>

れっつ ちゃれんじ!!

今からはじめる 幼保小の架け橋プログラム !!

半日入学を工夫してみましょう!

例えば

- ・安心して、親しみを感じられるような工夫を!
- ・幼児教育の環境に近い形で活動や遊びを取り入れて!
- ・友達と触れあう時間をつくって!

- 入学を楽しみにしながらも、不安もある子どもたちにとっては、優しい頼りになる先生方がいることを知る大切な機会に。
- 教師にとっては、「子どもがどんなことに興味をもっているのか」「出会った友達とどのように関わるのか」「困った時にはどのようにしているのか」等を見取る機会に。

●全校体制で取り組めば、誰が1年生の担任になっても、入学後の関わり等に生かすことができ、架け橋期の児童理解を深めるには有効な取組となります!

▶子どもたちにとっても教職員にとっても有意義な半日入学となりますように!



(実践研究校 半日入学)

コラム

なかにしサンの 幼分補給

子どもの生活の中にある飼育・栽培活動の意義

先日、1年生の生活科の授業を見ました。ずっと飼っている虫やザリガニが、もつと喜ぶような家や遊び場をつくらうという内容で、一人一人が主体性をもって活動し、生き物への相手意識をもって、仲間と話し合っ て共通の目的に向かう授業でした。何より、全員が「夢中」になって活動していました。

昔、小学校の先生だった私は「教科書にカタツムリがあるから」「4年生でジャガイモを育てることになって いるから」というだけで「その奥の大きな意義」をわか っていない情けない教師だったと大反省です。

その私が、幼稚園に異動して一番驚いたことは、日常生活の中に、飼育・栽培活動があり、幼稚園で「生き物と暮らす」「四季折々の花や野菜を育てる」ことを当たり前のように環境設定されていることでした。春には夏に咲く花や野菜の種をまき、初夏にはミカンの木にアゲハの幼虫が育ち、ジャガイモを収穫し、サツマイモを植え、秋にはバツタが育つように雑草を残し、冬には隣の小学校の1年生と焼き芋をして食べ、カメを冬眠させ春を待つ等々。時間がたつぷりある幼稚園だからこそですが、子どもに、収穫の喜び、生き物への愛着心、命の尊さ、不思議さ、畏敬の念を育てることが大きな意義なのだと思われました。幼保での飼育・栽培活動の体験は、小学校での学びに生きるはず。幼保小で「つながる保育・教育」になると思えます。



中西 昌子(なかにし しょうこ)
京都市教育委員会 学校指導課 参与
市立小学校教諭、幼稚園教諭・教頭、
竹田幼稚園長、市教委首席指導主事を
経て、平成三十年から現職。